



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台研究教育職 Solar-B 推進室 上級研究員

1. 上級研究員 1 名
2. (1) Solar-B 推進室
(2) 東京都三鷹市
3. Solar-B プロジェクト (<http://solar.nro.nao.ac.jp/solar-b/>) の推進
4. Solar-B 衛星は平成 18 年夏期に打上げ予定で、日英米で共同開発された最先端の可視光望遠鏡、X 線望遠鏡、極紫外線望遠鏡が搭載されています。これらの 3 台の望遠鏡を駆使してデータ解析、及び国際 Solar-B チームと共同して衛星の科学運用の中心となる上級研究員を公募します。併せて、宇宙航空研究開発機構と協力して、国立天文台が主担当の可視光望遠鏡を中心にして、Solar-B 衛星及び搭載装置全般の打上げ前試験・打上げ・初期運用・定常運用を担当する人材を望みます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 5 年、5 年後に資格審査の結果、任期のない主任研究員になることが可能です。
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要）、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと）、及び主要論文（3 編以内）別刷、(4) 研究計画書、(5) 本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先、または推薦書、(6) e-mail アドレス

8. 平成 17 年 7 月 29 日（金）必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台 Solar-B 推進室長 常田佐久
Tel: 0422-34-3720

宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部助手

1. 助手（教育職）1 名
2. 宇宙科学研究本部 宇宙情報・エネルギー工学研究系
3. 軌道決定・電波航法
4. 深宇宙探査機の高精度な軌道決定を実現するために、測距技術、相対 VLBI 技術、軌道データ処理ソフトウェアシステムの研究・開発を行うとともに、実際の探査機の高精度軌道決定に関する運用を行う意欲、能力のある方。また、内外の研究者らと協調して研究を遂行するとともに、大学院学生の教育・指導にも十分な能力がある方。
5. 決定後できるだけ早い時期
6. 博士の学位を有する者（平成 17 年度末までの取得見込みを含む）
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 論文リストと主要論文別刷、(4) これまでの研究概要と今後の研究計画、(5) 他薦の場合は推薦書 2 通、自薦の場合は本人について意見を述べることのできる人 2 名の氏名と連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）。
8. 平成 17 年 8 月 1 日（月）必着
9. (1) 〒229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部
庶務課人事係 Tel: 042-759-8010
(2) 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部
宇宙情報・エネルギー工学研究系
研究主幹 齋藤宏文
Tel: 042-759-8363 Fax: 042-759-8368
e-mail: kouhun@isas.jaxa.jp
10. 封筒の表に「宇宙情報・エネルギー工学研究系助手応募書類在中」と朱書きして、書留便にて郵送して下さい。応募書類は返却いたしませんので、あ

かじめご了承下さい。また、選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担となります。

11. 待遇

- (1) 給与：能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。
- (2) 休日休暇：機構の規定による。（教育職特則あり）
- (3) 勤務地：相模原キャンパス。
- (4) 任期・定年：任期なし。63歳定年制。
- (5) 宿舍：独身用・世帯用が用意されていますが、空室状況等により入居のご希望に添えない場合には、機構の規定により住宅手当が支給されます。
- (6) 社会保険：各種社会保険完備（健康保険、厚生年金保険）。

詳細は <http://www.jaxa.jp/about/employ/index-j.html> をご覧下さい。

筑波大学大学院数理工学研究所 物理学専攻研究員

1. 準研究員 1 名
2. 宇宙観測研究室
3. 宇宙物理学（観測）電波・サブミリ波観測の推進
4. 当該研究室では国土地理院との協力による 20 GHz 帯観測や南極高原地帯におけるサブミリ・テラヘルツ波観測などによる銀河・銀河系・遠方宇宙等の研究を計画している。本計画に参加し、装置開発や観測で成果を上げられる若手研究者を求める。
5. (1) 決定後できるだけ早い時期
(2) 着任から 3 年
6. 博士号取得者又は同等以上の者で 35 歳以下であること
7. (1) 履歴書, (2) 業績リスト（査読論文とそれ以外を区別）, (3) これまでの研究の概要（2,000 字程度）, (4) 今後の研究計画と抱負（2,000 字程度）, (5) 意見を求めうる方 2 名の氏名と連絡先又は推薦書
8. 2005 年 7 月 15 日（金）
9. 〒305-8571 つくば市天王台 1-1-1
筑波大学数理工学研究所物理学専攻 中井直正
Tel: 029-853-4281
e-mail: nakai@physics.px.tsukuba.ac.jp
10. (1) 当該職は常勤職（教務職員）であって物理学実験等の授業を担当する。(2) 3 年目に南極ドームふじ基地に行く可能性がある。(3) 封筒に「宇宙観測分野準研究員応募書類在中」と朱記し、簡易書留にて送付。

研究助成

(財)天文学振興財団 平成 17 年度研究助成公募

当財団では、国立天文台の事業支援等を通じて天文学の振興を図っております。

平成 17 年度の研究助成希望者を下記の要領で公募します。

今回は、公募種目等に変更がありますのでご留意下さい。

平成 17 年 4 月 25 日

(財)天文学振興財団 理事長 小平桂一

1. 公募種目

(1) 研究助成

- a. 対象：天文学に関する優れた研究活動を行うとする個人又は団体の代表者、原則として 35 歳以下
- b. 助成：1 件 100 万円以下。平成 16 年度は、1 件（100 万円）。

(2) 国際交流に対する助成

- a. 対象：天文学に関する海外での国際交流活動（1 カ月以内）に平成 17 年 4 月以降参加する研究者
- b. 助成：派遣に要する往復航空賃及び滞在費の一部。平成 16 年度の助成件数は、3 件（平均 22 万円）。

(3) 国際研究集会参加に対する助成

- a. 対象：平成 17 年 4 月以降に海外で開催される天文学に関する国際研究集会（10 日以内）に参加、発表する研究者
- b. 助成：派遣に要する往復航空賃。平成 16 年度の助成件数は、7 件（平均約 15 万円）

(4) 国際研究集会開催に対する助成

- a. 対象：平成 17 年 4 月以降に国内で天文学に関する国際研究集会を開催する研究者グループ。
- b. 助成：1 件 100 万円以下として、助成件数 1～2 件程度。

2. 申込期限：(1) は平成 17 年 6 月末日、(2)、(3) は毎年 1 月末日、6 月末日（平成 18 年度以降は 5 月末日）、9 月末日の計 3 回。(4) は毎年 6 月末日（平成 18 年度以降は 5 月末日）、9 月末日の計 2 回。

3. 選考結果：選考委員会で審査の上、採択の可否については、各申込期限の約 1 カ月後に文書で通知します。

4. 報告：研究助成は、年度末、それ以外の助成は、

帰国後及び開催後1カ月以内に報告書を提出していただきます。

5. 申請：申請書は事務室あてに請求して下さい。
6. 問合せ先：(財)天文学振興財団事務室
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台内
Tel: 0422-34-8801 Fax: 0422-34-4053

日産科学振興財団 2005年(平成17年)度「理科・環境教育助成」の募集を開始

日産科学振興財団(理事長:カルロス・ゴーン)は、昨年度より「教育」・「環境」・「自動車」にフォーカスした助成を行ってまいりました。その一環として、2005年度も昨年度と同様、「理科・環境教育助成」を大幅に拡充し募集することとなりました。ここでは「理科・環境教育助成」プログラムのみを記載いたしますが、学術研究および教育助成の全体内容及び申請方法については、ホームページをご参照下さい。

■理科・環境教育助成

将来を担う世代の科学と環境問題に関する興味と関心を高め、理解を促進することを目的として「理科・環境教育」に関する助成を行います。応募書類は財団ホームページ(この記事末参照)から記入可能な申請書式をダウンロードしてご利用下さい。また不明な点は、事務局までお問い合わせ下さい。

■応募要件と審査

- (1) 助成対象：主として高校生以下の生徒に科学・技術・環境問題・モノづくり・自動車等に興味を持ってもらうことを目的とした、下記に例示するような活動。
 - ①IT技術を活用した教育方法の開発と実施
 - ②気象、自動車など身近な素材を活用した教材および教育方法の開発と実施
 - ③博物館、動植物館、水族館等の公共施設と連携した教育方法の開発と実施
 - ④科学研究者、技術者が教える教育方法の開発
 - ⑤イベントの開発・考案と実施
 - ⑥その他上記例示以外の新しい試みの考案と実施
- (2) 助成要件：活動には上記目的に適用何らかの実践活動(授業、イベント、出張授業等)を最低限1回は含めること。
- (3) 申請者の資格(代表者)：小・中・高等学校の教員、大学・研究機関等の研究者、企業・NPO・博物館・科学館関係者等
- (4) 助成金額：1件あたり40万円程度
- (5) 採択予定：65件程度

- (6) 助成期間：原則として1年間(平成17年11月～平成18年10月)ただし今回採択された助成者の中から、内容が優れた若干数の案件に限り、再応募・審査により、内容の普及を目的とした助成期間の延長と追加助成金の支給を行う予定です。
- (7) 応募方法と締切：6月1日(水)より受付開始。7月29日(金)締切
 - 電子メール応募と郵送のセット応募(FAX応募は不可)。
 - 財団ホームページに従って応募下さい。
財団法人日産科学振興財団
URL: <http://www.nissan-zaidan.or.jp>
〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-9
Tel: 03-3543-5597 Fax: 03-3543-5598
問合せ先 nsf@nissan-zaidan.or.jp

第19回日本IBM科学賞

日本天文学会に標記の案内がきております。その概要をお知らせします。詳しくは下記日本IBMホームページを参照して下さい。

名称：日本IBM科学賞

目的：わが国における学術研究の振興と若手研究者の育成

候補者資格：

- 1) 国内の大学あるいは公的研究機関に所属し、その研究活動の分野が、次の領域に該当する基礎研究者(国籍は問わない)
 - (1) 物理
 - (2) 化学
 - (3) コンピューターサイエンス(バイオインフォマティクスを含む)
 - (4) エレクトロニクス(バイオエレクトロニクスを含む)
- 2) 2005年8月15日現在満45歳以下であること
受賞件数：5件(原則として1件1名とします)
推薦方法：国内の大学あるいは公的研究機関等に所属されている方の推薦

締切：2005年8月15日(月)の消印まで有効。

選考：審査委員会により決定する

賞金：300万円(1件)副賞はメダル、他

発表：推薦者を通じて通知(10月下旬予定)

送付先：〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

日本アイ・ビー・エム株式会社

「日本IBM科学賞」事務局(HQ-DJO)

連絡先：【事務局】 Tel: 03-5563-4835

Fax: 03-5563-4878

e-mail: science@jp.ibm.com

※候補者の推薦は以下の Web でも受付ております。

日本 IBM ホームページ「科学の扉」

<http://www.ibm.com/jp/company/society/science/>

共同研究・共同利用

国立天文台 野辺山宇宙電波観測所 共同利用観測プログラム公募案内

野辺山宇宙電波観測所では、以下の観測プログラムの公募を行います。詳しくは、ホームページ (<http://www.nro.nao.ac.jp/openuse/index.html>, 45 m 鏡, 干渉計とも現在更新準備中) をご覧ください。なお、野辺山 45 m 鏡の公募に関しましては、締切りがこれまでと大きく変更になりましたのでご注意ください。

〈野辺山 45 m 鏡〉

第 24 期共同利用 (2005 年 12 月–2006 年 5 月) 観測

○教育支援枠

締切: 2005 年 7 月 15 日 (金) 15 時 JST [06h UT]

○一般前期共同利用

締切: 2005 年 9 月 1 日 (木) 15 時 JST [06h UT]

○一般後期共同利用

締切: 2006 年 1 月 10 日 (火) 15 時 JST [06h UT]

○Short Program

締切: 2006 年 1 月 31 日 (火) 15 時 JST [06h UT]

〈野辺山ミリ波干渉計〉

第 19 期共同利用 (2005 年 12 月–2006 年 5 月) 観測

○長期共同利用 (今期の募集は継続のみで新規は受け付けません)

締切: 2005 年 7 月 6 日 (水) 15 時 JST [06h UT]

○一般共同利用

締切: 2005 年 7 月 6 日 (水) 15 時 JST [06h UT]

○RAINBOW 干渉計共同利用

締切: 2005 年 7 月 6 日 (水) 15 時 JST [06h UT]

国立天文台野辺山宇宙電波観測所

所長 坪井昌人

ASTE 共同観測研究プログラム公募のお知らせ

Atacama Submillimeter Telescope Experiment (ASTE) は、国立天文台および大学連合 (東京大学, チリ大学, 名古屋大学, 大阪府立大学ほか) の協力により, 南米チリのアタカマ砂漠において推進されているサブミリ波の地上観測プロジェクトです。高地 (標高 4,800 m)

ゆえの苦労を重ねながらも, 本格的なサブミリ波の分光観測を開始し, 科学的成果が出始めています。

これを受け, 下記要領にて「ASTE 共同観測研究プログラム」を募集いたします。これは, risk share の原則の下, ASTE の観測時間を試験的にオープンするものです。ただし, 観測をより実り多いものとするため, 観測の提案にあたっては, ASTE 運用チームメンバーを共同研究者として含めていただくこととします。すなわち, 観測提案を検討される方は, 事前に下記問合せ先までご相談いただき, ASTE チーム側の共同研究者を決めた上で, 技術面でのサポートを受けつつ観測提案の作成をすることを推奨いたします。これにより, ASTE の現状に詳しくない方でも適切な観測提案をしていただけるものと期待します。

記

1. オープンする内容: 10 m サブミリ波望遠鏡「ASTE」による, 350 GHz 帯の分光観測。
2. 応募できる方: 試験的オープンですので, 日本の研究教育機関等に所属する方とさせていただきます。
3. 観測実施時期および期間: 2005 年 8 月中旬～下旬の 12 日間を予定。
4. 観測実行場所: ASTE 現地 (山麓観測室), ASTE 三鷹観測室, ASTE 野辺山観測室のいずれか。
5. 共同観測研究情報: <http://www.nro.nao.ac.jp/aste/prop05/> をご参照下さい。ASTE のステータスレポート, 詳細な募集要領などを掲載します (6 月上旬予定)。
6. 募集締切: 2005 年 7 月 1 日 (金) 15 時 (JST) メール必着。
7. 申込先および方法: 5. の募集要領により提案書を PDF 形式のファイルで準備していただき, aste-submit@nro.nao.ac.jp へメールの添付ファイルにて送信して下さい (最大 9 MB)。e-mail のみの受付。(PDF ファイルの作成が不可能な場合はご相談下さい。)
8. 審査方法および結果の通知: NRO プログラム小委員会および ASTE Time Allocation Committee で審査の上, 7 月中旬までに結果をお知らせいたします。
9. 注意: 今回の募集は試験的オープンですので, 通常の野辺山の共同利用とは異なります。
 - a) 旅費のサポートについては現在検討中です (国内のみ)。ご希望に添えない場合もありますので, 悪しからずご了承下さい。
 - b) risk share の原則で運用しますので, トラブル

等による観測補填は行いません。

10. 問合せ先: 河野孝太郎 (東大天文センター: project director)

kkohno@ioa.s.u-tokyo.ac.jp

江澤 元 (国立天文台: project manager)

h.ezawa@nao.ac.jp

研究会・集案案内

「サイエンスキャンプ 2005」参加者募集

「サイエンスキャンプ」は、さまざまな最先端の研究成果や研究施設・実験装置等を有する公的研究機関 26 会場が、夏休みの 3 日間または 4 日間、高等学校、中等教育学校後期課程または高等専門学校 (1~3 年生) 等に在籍する生徒をそれぞれ 6~30 名 (全体で 329 名) 受け入れ、本格的な実験・実習を行う、科学技術体験宿泊プログラムです。募集要項・申込書は、事務局に請求するか、WEB サイトからも入手可能。

主催: 財団法人日本科学技術振興財団

応募資格者: 高等学校、中等教育学校後期課程または高等専門学校 (1~3 年) 等に在籍する生徒

会場: 公的研究機関 26 会場 (詳細は、WEB サイトを参照のこと)

応募方法: 応募者は「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、事務局に送付。

応募締切日: 6 月 27 日 (月) (必着)

参加費: 8,000 円 (保険料等実費の一部に充当します)、自宅と会場間の交通費は別途自己負担。

サイエンスキャンプ事務局:

財団法人日本科学技術振興財団振興部内

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号

Tel: 03-3212-2454 Fax: 03-3212-0014

URL: <http://ppd.jsf.or.jp/camp/>

国立天文台野辺山特別公開のお知らせ

自然科学研究機構 国立天文台
野辺山宇宙電波観測所
野辺山太陽電波観測所

国立天文台野辺山では、天文知識の普及と観測所業務の広報とを目的として、下記の要領で特別公開を開催しますのでご案内申し上げます。

記

1. 日時 2005 年 8 月 20 日 (土) 午前 9 時 30 分~午

後 4 時 (午後 3 時 30 分に入場を終了させていただきます。)

2. 場所 国立天文台野辺山

3. 展示・見学

通常の見学コースのほか、45メートル電波望遠鏡・ミリ波干渉計・電波ヘリオグラフの各観測室、観測データを処理する計算機などを見学できます。宇宙・太陽からやってくる電波をとらえる観測装置の仕組みや、最新の観測結果を展示します。工作体験コーナーや質問コーナーなどもあります。

4. 講演会

●午前 11 時~午前 12 時

「銀河文明と銀河図書館」祖父江義明 (東京大学)

●午後 2 時~午後 3 時

「太陽と宇宙天気予報の話」堀 久仁子 (国立天文台)

5. 交通

●鉄道 JR 小海線野辺山駅下車 徒歩 30 分 (駅から無料シャトルバス運行)

●自動車 東京・名古屋方面から: 中央自動車道長坂インターから清里高原道路を経て約 30 分。

または、中央自動車道須玉インターから国道 141 号線を臼田・佐久方面へ約 50 分。群馬方面から: 上信越自動車道佐久インターから国道 141 号線を臼田・清里方面へ約 80 分。

6. ご注意

●入場無料・雨天決行

●スリッパを各自ご持参下さい。

●天文台内では食事の提供・販売はいたしませんので、ご了承下さい。

●天文台入口駐車場は大型バス・障害者専用となります。その他の自動車の方は、野辺山スキー場の駐車場をご利用下さい。スキー場から観測所まで無料シャトルバスを運行します。

●特別公開当日は、会場準備の都合で午前 9 時 30 分から午後 4 時のみの開場となります。

問合せ先

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山

国立天文台野辺山 Tel: 0267-98-4300 (代表)

<http://www.nro.nao.ac.jp/~openday/>

平成 17 年度最新の天文学の普及をめざすワークショップ「あなたが天文学の学生になる 3 日間」(系外惑星編) 参加者募集の案内

日本プラネタリウム協会 (JPS)、特定領域研究「太陽系外惑星科学の展開」及び兵庫県立西はりま天文台

公園の三者は、プラネタリウムや公開天文台など、生涯学習施設の職員を対象に最新の太陽系外惑星科学を学ぶワークショップを下記のように開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

尚、天文研究者及び学生向けのアナウンスは別途特定領域研究「太陽系外惑星科学の展開」グループから行われる予定です。

記

日 程：平成 17 年 9 月 5 日（月）～7 日（水）
場 所：兵庫県立西はりま天文台公園
対 象：プラネタリウム・公開天文台等の職員で日頃から天文学の普及に携わっている方

定 員：30 名

参加費：一万円（主に会期中の食事及び懇親会費）（旅費については一部補助を検討中です。）

応募方法：希望者は氏名、連絡先、e-mail アドレス、所属を明記し、レポート「私の考える太陽系外惑星科学教育プログラム（A4, 1 ページ程度：ワードあるいはテキスト・ファイル）」を添付しお送り下さい。参加者選考結果は 8 月 1 日に e-mail で本人あてに通知します。（全日程参加される方を優先して選考される予定です。）

応募締切：平成 17 年 7 月 20 日（水）

応募先：〒167-0033 杉並区清水 3-3-13

杉並区立科学館 伊東昌市 宛

Tel: 03-3396-4391 Fax: 03-3396-4393

e-mail: itoh@science.suginami-ku.ed.jp

代表者：〒333-0844 川口市上青木 3-12-18

川口市立科学館 根本しおみ

e-mail: s.nemoto@kawaguchi.science.museum

主な講義及び実習：

太陽系外惑星の間接観測

太陽系外惑星の直接観測

惑星系形成理論

ハビタブル・プラネットの条件

究極の宇宙論：太陽系外惑星探査

トランジット観測・解析法など。

プログラムの内容等、詳しくは JPS ホームページ

<http://planetarium.jp/pub/topics/20050601a.html> をご覧下さい。

東京大学天文学教育研究センター木曾観測所 及び名古屋大学太陽風観測所の特別公開の お知らせ

東京大学木曾観測所と名古屋大学太陽風観測所で

は、例年行っております施設の特別公開を下記の日程で行います。

本年は、望遠鏡のデモ、研究や教育活動紹介パネルの展示に加え、木曾観測所所員による講演会を行う予定です。

また、昼から夜まで小望遠鏡による天体の観望会も予定しておりますので是非ご来所下さい。

記

日 時：2005 年 8 月 6 日（土）12 時から 22 時まで
タイトル：「昼から夜まで観望会」—天文台で星と風を見よう—

内 容：

- 1) 木曾観測所及び太陽風観測所の公開と説明
- 2) 望遠鏡のデモンストレーション
- 3) 教育・研究活動の紹介
- 4) 天体写真の展示
- 5) 講演会
- 6) 天体観望会（雨天中止）

開催場所：東京大学木曾観測所及び名古屋大学太陽風観測所

〒397-0101 長野県木曾郡三岳村 10762-30

問合せ先：東京大学木曾観測所

Tel: 0264-52-3360 Fax: 0264-52-3361

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>

会 務 案 内

内地留学奨学金応募者の募集について

この奨学金は主として学校の教員、科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の職員などやアマチュア天文研究者の方々の研究活動・調査活動を支援する制度です。学生の応募も可能です。

この奨学金を受給された場合、日本国内の大学や天文台などの研究機関を利用し、そこの研究者の指導を受けて研究活動を行うこととなります。

いままで、多くの方がこの制度を利用して、それぞれ関心をお持ちのテーマで研究をされてきました。奮って、ご応募下さい。

研究をしてみたいがその内容にふさわしい機関や指導者が分からないという場合は、内地留学奨学金選考委員長に相談して下さい。

過去の奨学金の対象となった研究テーマは本会の会員名簿の巻末、及び学会ホームページに掲載されています。

募集要項

応募資格：日本天文学会員

採択数：若干名

留学期間：2006年1月から1年間の希望する期間

希望者と受入研究機関、指導教官（受入研究者）と相談の上、夏休みなどの長期休業時に集中させたり、週に1回程度の研究日を設定するなどの方法が考えられます。なお研究終了後研究報告書の提出をお願いいたします。

支給額：25万円以下で、支給は2006年1月を予定しています。

申込み：応募申請書に必要な事項を記入し、指導教官の捺印とコメントを得た上、「〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内日本天文学会理事長 宛」郵送して下さい。

応募締切：2005年8月31日（水）必着

審査：内地留学選考委員会（内規第5条）で審査の上、決定し、10月下旬に通知します。

応募用紙：日本天文学会事務室にあります。（学会事務室に電話を下されば郵送します。）申請書の書き方の例もありますからご請求下さい。なお、天文学会の会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります。

ご相談・問合せ先：京都府立洛東高等学校
〒607-8017 京都市山科区安 朱川向町10)

内地留学奨学金選考委員長 西村昌能

Tel: 075-581-1124 Fax: 075-581-1125

e-mail: mnisimura@kcat.zaq.ne.jp

天文学会事務所

Tel: 0422-31-1359 Fax: 0422-31-5487

e-mail: jim@asj.or.jp

事務室だより

天文月報バックナンバーの無償提供について

天文学会では事務所手狭のため、天文月報のバックナンバーの在庫整理を行い、余剰分となったものについて、希望者に無償にてご提供させていただくことにいたします。ただし、バックナンバーは在庫のない巻、号もあります。発送は申し込み締め切り後となります。

又、送料については原則着払い扱いとさせていただきますのでご了承下さい。

ご提供の詳細は以下のとおりです。

提供範囲：第1巻第1号（1908年4月）～第92巻第12号まで（1999年12月）（欠番もあります）

対象：天文学会の会員、大学や研究機関の図書館

送料：実費のご負担をお願いいたします。

締切日：2005年8月31日（水）

ご希望、ご質問がございましたら、学会事務所までお問い合わせ下さい。

連絡先：〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内（社）日本天文学会事務所

Tel: 0422-31-1359 Fax: 0422-31-5487

e-mail: jim@asj.or.jp

訂正とお詫び

天文月報第98巻6号（2005年6月号）の429ページ「2004年度事業報告補足」に誤りがありました。お詫びして訂正致します。

誤) 2003年度は朝日賞、井上學術賞、東レ研究助成
正) 2002年度は朝日賞、井上學術賞、東レ研究助成

和田桂一(編集長)、今西昌俊、亀野誠二、齋藤正雄、寺田幸功、濤崎智佳、戸谷友則、洞口俊博、増田 智、矢野太平
平成17年6月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359 (事務所)/0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2005年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)